



ALWAYS IN ADVANCE OF TIMES,
DAIDO CORPORATION HAS
STEADILY GROWN BY PROVIDING
SUPERIOR PRODUCTS AND SERVICE.

特化則対応品

ユカクリート コンクリート用 水系クリヤー

1液型

2液型



コンクリートの風合いを生かしたクリヤー仕上げの防塵塗床材

ホルムアルデヒド放散等級
F☆☆☆☆(規制対象外)

非鉛・クロム

日塗工登録番号
D01262(1液型)・D01295(2液型)

ユカクリート コンクリート用 水系ワリヤー

1液型 2液型



特長

- 1 艶有タイプと落ち着いた仕上がりの艶消しタイプがあります。艶有タイプは少し濡れ色になります。
- 2 水性タイプで、環境に優しく、消防法による危険物に該当しません。
- 3 厚生労働省指定の13物質を含有していません。
- 4 ノン鉛、ノンクロムで、しかもホルムアルデヒド放散等級はF☆☆☆☆です。
- 5 汚れにくく、コンクリートの風合いを長く維持します。
- 6 **1液型** 1液タイプなので作業性に優れています。
- 7 **2液型** 耐水性に優れ、水に濡れても白化がしにくいです。
- 8 **2液型** 耐摩耗性に優れています。
- 9 **2液型** 無黄変タイプで耐候性に優れています。

用途

1液型は屋内専用で、2液型は屋外での塗装が可能です。

店舗・事務所等の
コンクリート打ち放し仕上げ

廊下・階段

OAフロアの
防塵

艶有

艶消



▲
1液型

▲
2液型

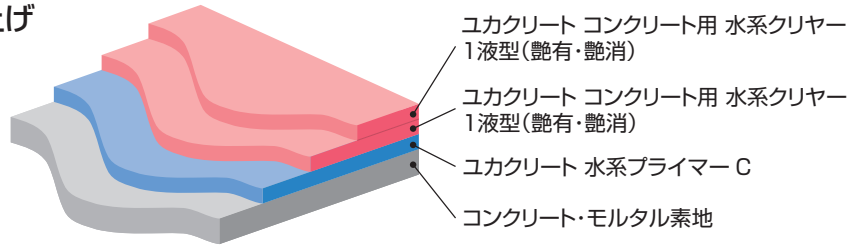
▲
1液型

▲
2液型

注)仕上り写真は社内試験での結果です。現場のモルタル、コンクリートの吸いこみは多様ですので、予め試験塗装にてご確認される事をお薦めします。

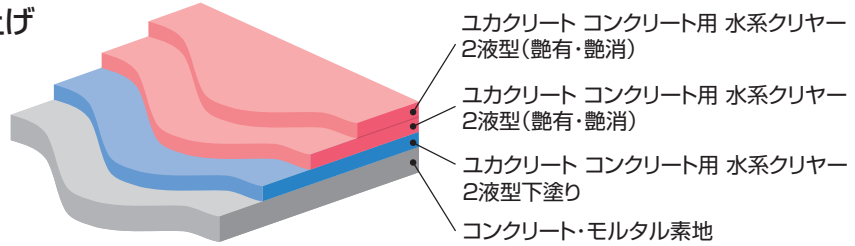
■コーティング工法 平滑仕上げ

コンクリート用 水系クリヤー 1液型(艶有・艶消)



■コーティング工法 平滑仕上げ

コンクリート用 水系クリヤー 2液型(艶有・艶消)



注)2液型の下塗に水系プライマー Cは使用できません。

◎水系クリヤー1液型と水系クリヤー2液型の比較表

品名	ユカクリート コンクリート用 水系クリヤー 1液型	ユカクリート コンクリート用 水系クリヤー 2液型
荷姿	1液	2液(5:1)
光沢	11(艶消)	18(艶消)
軽歩行可能時間(23℃)	2時間	2時間
耐摩耗性 CS-17 4.9N×100回転	5mg	2mg
耐衝撃性 1/2' 300g×30cm	合格	合格
ホルムアルデヒド放散等級	F☆☆☆☆	F☆☆☆☆
用途	屋内専用	屋内・屋外

※数値は実測値であり保証値ではありません。

◎容量と塗装面積

品名	材質	配合比 (主剤:硬化剤)	容量	塗装面積 (㎡/1缶)	可使用時間 (23℃)	硬化時間 (23℃)	ホルムアルデヒド 放散等級
ユカクリート 水系プライマー C	水系1液型 カチオン樹脂系	—	15kg	75~150/回	—	4	F☆☆☆☆ 日塗工登録番号 D01212
			4kg	20~40/回			
ユカクリート コンクリート用水系クリヤー 1液型 (艶有・艶消)	水系1液型 シリコンアクリル樹脂系	—	15kg	75~93/2回	—	2	F☆☆☆☆ 日塗工登録番号 D01262
			4kg	20~25/2回			
ユカクリート コンクリート用水系クリヤー 2液型 下塗り	水系2液型 アクリルウレタン樹脂系	5:1 (質量比)	12kgセット (主剤:10.0kg,硬化剤2.0kg)	120~400/回	5	5	F☆☆☆☆ 日塗工登録番号 D01302
			3kgセット (主剤:2.5kg,硬化剤0.5kg)	30~100/回			
ユカクリート コンクリート用水系クリヤー 2液型 (艶有・艶消)	水系2液型 アクリルウレタン樹脂系	5:1 (質量比)	12kgセット (主剤:10.0kg,硬化剤2.0kg)	60~100/2回	2	2	F☆☆☆☆ 日塗工登録番号 D01295
			3kgセット (主剤:2.5kg,硬化剤0.5kg)	15~25/2回			

塗装仕様 コンクリート用水系クリヤー 1液型 コーティング工法 平滑仕上げ

工程	品名	内容	塗付量 (kg/m ²)	塗装間隔 (23℃)	
1	下地	●下地コンクリート及びモルタルは金ゴテ仕上げで、十分に強度のあるものとします。 ●通常、コンクリートは4週間以上、モルタルは打設後2週間以上の養生が必要です。			
2	下地処理	●含水率はポリエチレンフィルムを床面に敷き、周囲をテープで密封して翌日(16時間後)開封する手順で行い、床面が黒っぽく濡れたりフィルムに結露していないこととします。また、含水率は、デジタル水分計で5%以下を目安とします。 ●必ず全面をサンドペーパーがけ(P24~P40)により目荒らしを行い、汚染物やレイトランスを除去します。 ●油脂、グリース、タールなどはシンナーか洗剤で除去します。 ●必要に応じてクラック、穴などを補修します。			
3	下塗	ユカクリート 水系プライマーC	希釈せず、はけ、ローラーで均一に塗装します。	0.10~0.20	4時間以上 7日以内
4	上塗 (1回目)	ユカクリート コンクリート用 水系クリヤー1液型 艶有・艶消	清水で10~20%(質量)希釈して、はけ、ローラーで均一に塗装します。	0.08~0.10	2時間以上 7日以内
5	上塗 (2回目)	ユカクリート コンクリート用 水系クリヤー1液型 艶有・艶消	清水で10~20%(質量)希釈して、はけ、ローラーで均一に塗装します。	0.08~0.10	
6	養生	●養生期間中は出入り口を封鎖し、歩行しないように注意します。 ●軽歩行可能時間は2時間以上(23℃)です。			

塗装仕様 コンクリート用水系クリヤー 2液型 コーティング工法 平滑仕上げ

工程	品名	内容	塗付量 (kg/m ²)	塗装間隔 (23℃)	
1	下地	ユカクリート コンクリート用 水系クリヤー1液型と同じです。			
2	下地処理	ユカクリート コンクリート用 水系クリヤー1液型と同じです。			
3	下塗	ユカクリート コンクリート用 水系クリヤー2液型 下塗り	硬化剤に同量の水を加え攪拌混合します。その後、速やかに主剤と混合し、はけ、ローラーで均一に塗装します。	0.03~0.10	5時間以上 3日以内
4	上塗 (1回目)	ユカクリート コンクリート用 水系クリヤー2液型 艶有・艶消	硬化剤に同量の水を加え攪拌混合します。その後、速やかに主剤と混合し、はけ、ローラーで均一に塗装します。	0.06~0.10	2時間以上 7日以内
5	上塗 (2回目)	ユカクリート コンクリート用 水系クリヤー2液型 艶有・艶消	硬化剤に同量の水を加え攪拌混合します。その後、速やかに主剤と混合し、はけ、ローラーで均一に塗装します。	0.06~0.10	
6	養生	●養生期間中は出入り口を封鎖し、歩行しないように注意します。 ●軽歩行可能時間は2時間以上(23℃)です。			

◎施工上の注意 1液型 2液型 共通

- デジタル水分計は、(株)ケット科学研究所製造品を指しています。説明書に従って測定して下さい。
- 下地の吸い込みが多い場合はそれぞれの下塗りを濡れ色になるまで、再塗装して下さい。
- 同一床面では休まず一気に仕上げして下さい。休むと段差ができることがあります。
- 施工中は保護手袋を着用して下さい。塗料が皮膚に付着した場合は石鹸でよく洗って下さい。
- 仕上がり不良の原因となりますので、たまりのないよう塗装して下さい。
- ユカクリート 水系プライマーC、コンクリート用水系クリヤー1液型・2液型(艶有・艶消・下塗り)は凍結の恐れがありますので、保存中は0℃以下にならないようして下さい。
- ユカクリート 水系プライマーCを塗装したはけ、ローラーは、コンクリート用 水系クリヤー1液型・2液型(艶有・艶消・下塗り)の塗装には使用しないで下さい。塗料が固まる場合があります。
- 道具は使用後直ちに水で洗浄して下さい。洗いはコンクリート用水系クリヤー1液型・2液型(艶有・艶消・下塗り)の希釈水とは別にして下さい。
- 他の水性塗料との混合は避けて下さい。
- 気温5℃以下や、相対湿度80%以上での施工は避けて下さい。
- 施工中、養生中は換気を十分に行って下さい。換気が不十分な場合には、乾燥が遅れたり、硬化不良を起こす場合がありますので、場合によっては送風を行って下さい。
- 軽歩行可能時間は、気温、湿度、塗付量によって変化しますのでご注意ください。
- 防滑仕上げにする場合は、上塗1回目の塗装直後にアルミナ骨材#80を散布して下さい。アルミナ骨材の散布量は0.05~0.10kg/m²です。
- 緻密なコンクリート、強化コンクリートには施工できません。
- 壁面にも塗装可能です。(床用塗料のため、垂れにご注意下さい)

◎施工上の注意 1液型

- 降雪雨にあたりと白化や付着性が悪くなる可能性がありますので屋外での施工は避けて下さい。
- 厚付けすると付着力の低下等の不具合の原因となりますので、標準塗付量を順守して塗装して下さい。
- 外部、及び内部を含む水かかり部分へは使用しないで下さい。

◎施工上の注意 2液型 (艶有・艶消・下塗り)

- 最初に必ず硬化剤と同量の清水を硬化剤に加えて希釈して下さい。清水を加えずに主剤と混合するとブツを生じることがあります。
- 硬化剤は清水と混ぜた後は、速やかに主剤と混合して下さい。清水を加えた硬化剤は、主剤と混ぜなくても発泡し、ゲル化します。
- 塗料を少量調合する場合は、必ず適正な秤を使って主剤と硬化剤及び清水の所定量を秤量して下さい。
- 下塗りによる濡色を低減したい場合は、塗残しの無い程度で極力塗付量を減らして下さい。事前に試験塗装を行い、塗付量と仕上りを確認してから塗装する事をお勧めします。
- 下地の吸い込みが激しく、下塗りの塗付量が多くなる場合は、濡色になる可能性がありますので、注意して下さい。
- 濡れると色が変わることがありますが、乾くと元に戻ります。